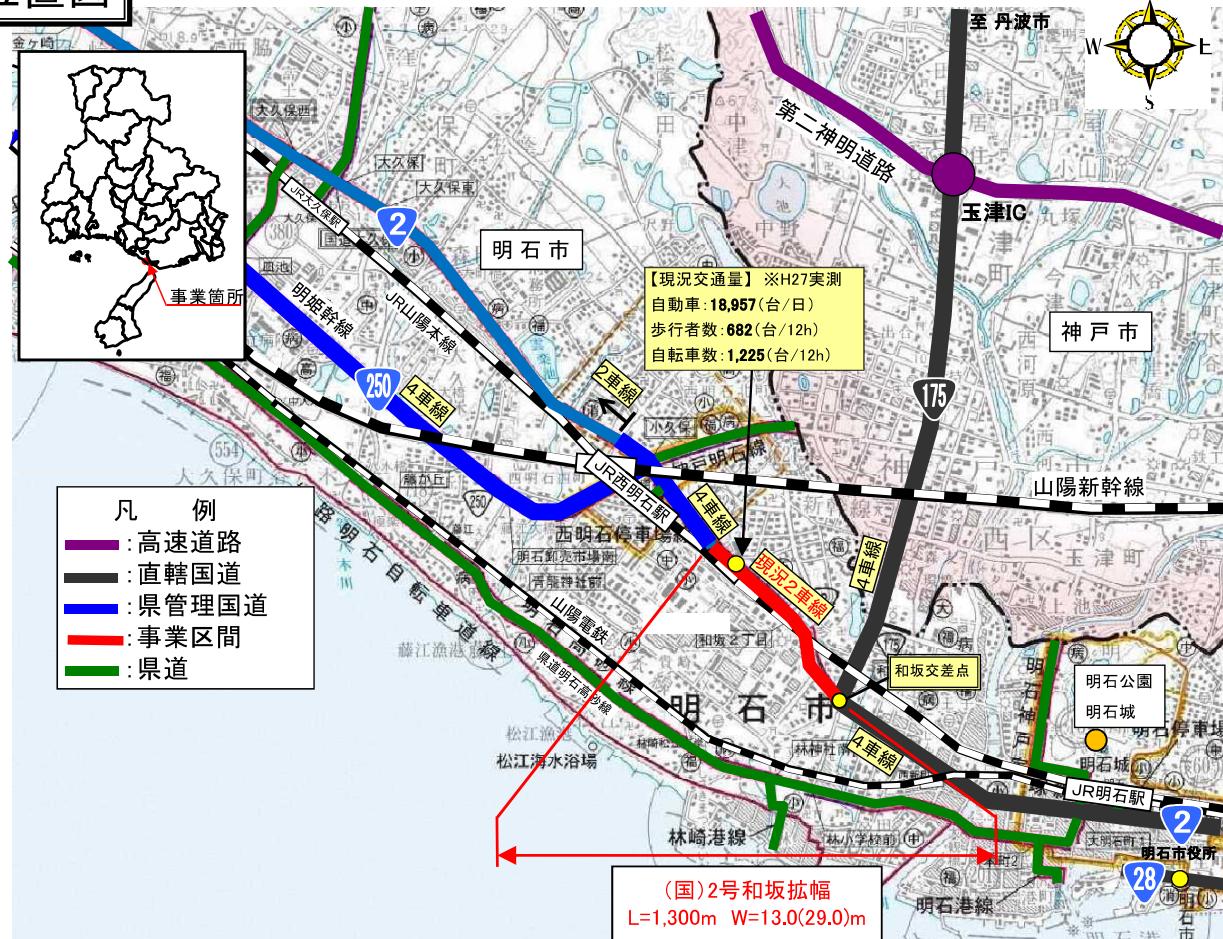
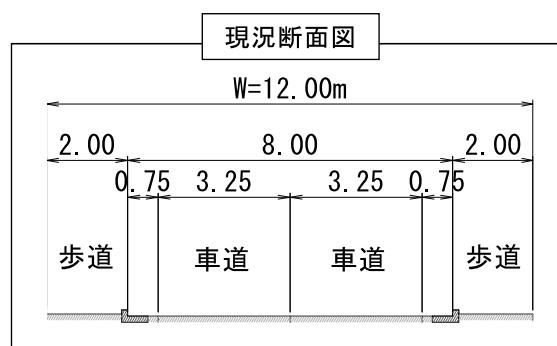


位置図



横断図



計画断面図

W=29.00m

3.50 2.00 1.50 6.50 2.00 6.50 1.50 2.00 3.50

歩道 植樹帯 路肩(自転車通行空間) 車道 車道 側帯 中央分離帯 側帯 車道 車道 植樹帯 歩道

電線類地中化

※ 幅員構成については、関係機関との協議を今後実施

事業の必要性①

渋滞状況

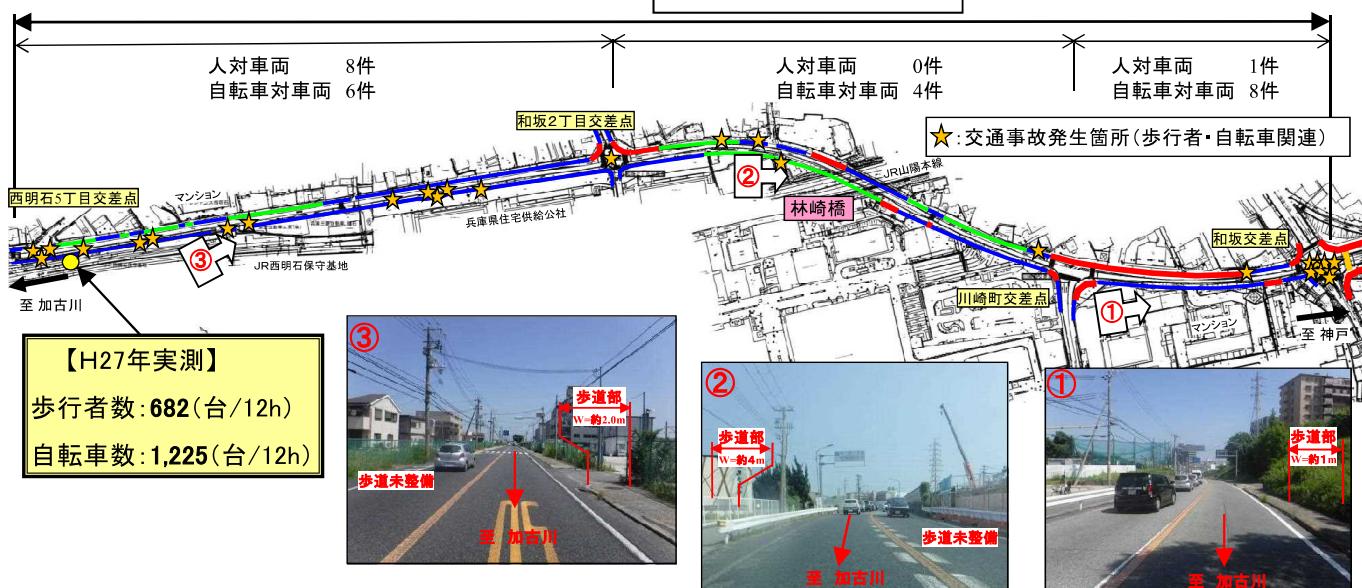
- ・当該区間の前後は4車線であるが、当該区間は2車線であり、ボトルネックとなっていることから慢性的な渋滞が発生。



事業の必要性②

(国)2号和坂拡幅

L=1,300m W=13.0(29.0)m



凡 例

■:歩道あり(W=3.5m以上)

自転車数:1,225(台/12h)

歩道の整備状況

・歩道未整備区間、歩道幅員狭小区間が多く、歩行者の安全性が確保されていない。【歩道整備率($W \geq 3.5$: 約15%)】

- ・歩道未整備区間を通行する歩行者、自転車が多数見られ、交通事故発生の危険度が高い。

【歩行者・自転車関連の事故件数 27件(H25～H29)】

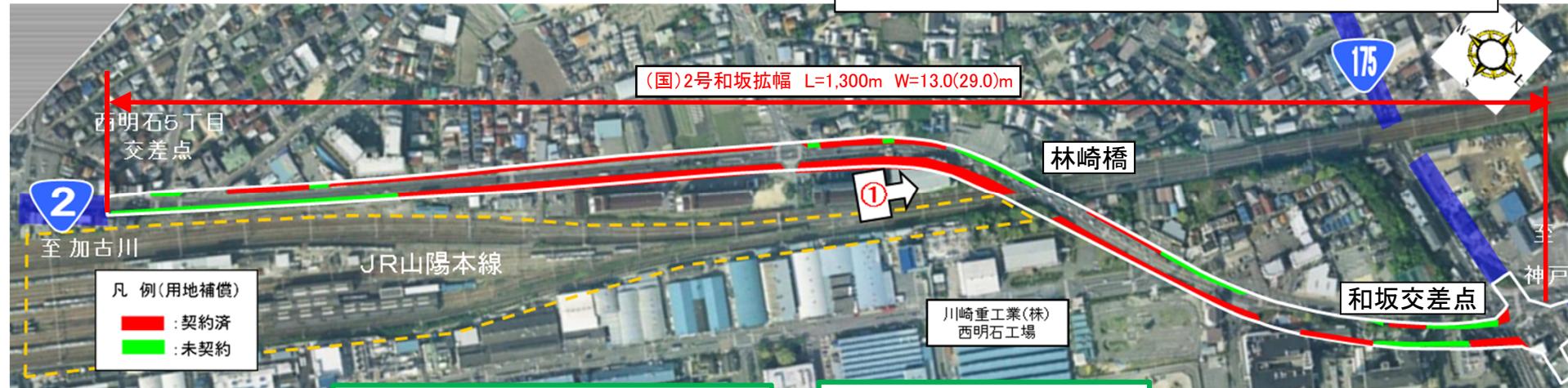
進捗状況

①用地

- ・進捗率: 80%(面積ベース)
- ・残件(17件)をH34年度までに取得予定

②工事

- ・JR跨線橋(林崎橋)下り車線: H31年度完成予定
- ・和坂交差点～林崎橋間の4車線化をH33年度に完成予定
- ・JR跨線橋部分以外の4車線化をH35年度に完成予定



工事 工程表

和坂交差点～林崎橋間の4車線化が完成
→渋滞緩和

林崎橋以外の4車線化が完成
→交通混雑緩和

全線4車線化

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
工事	林崎橋	下り線 (新設)	下部工										
		上部工											
		旧橋撤去											
		上り線 (架け替え)	下部工										
		上部工											
		電気設備工	き電線等、既設下部工に添架されている電気設備の移設及び復旧の追加										
		改良工事											

林崎橋 工事状況写真



1 スケジュール

工種	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	H 32	H 33	H 34	H 35	H 36	H 37
設計・調査 (関係機関協議)																						
用地補償																						
橋梁工事																						
道路改良工事																						

: 前回計画(H25)
 : 実施・計画

2 事業効果について

(1) 費用対効果

①便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	①走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: Σ (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	②走行経費減少便益 走行速度の向上や走行距離の短縮により、燃料費などが節減される便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: Σ (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	③交通事故減少便益 中央分離帯の設置や通過する主要交差点数の減少により、交通事故が減少する便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: Σ [交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位]

②費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)			C(費用)			B/C
		便益額 (百万円)		代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
		(百万円)	(百万円)		(百万円)	(百万円)	(百万円)	
道路	国道 2号 和坂拡幅	①走行時間 短縮便益	32,200	計画交通量: 30,400 台/日	10,500	10,300	200	3.2
		②走行経費 減少便益	1,500					
		③交通事故 減少便益	0					
		計	33,700					
	残 事 業 費	①走行時間 短縮便益	32,200	同上	3,800	3,600	200	8.9
		②走行経費 減少便益	1,500					
		③交通事故 減少便益	0					
		計	33,700					

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

- ①西明石駅(JR新幹線・JR山陽本線)へのアクセス性の向上
- ②慢性的な交通渋滞解消による、沿道環境の改善

道路街路事業の効果

対象事業：(国)2号 和坂拡幅

(1) 費用対効果

効果項目（費用対効果の便益内容）	
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による燃料費の節約等
交通事故減少	交通事故の減少による人的損害額、物的損害額及び渋滞による損失額等

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目
①安全・安心の確保	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)
	救助・救援活動の支援 (※災害時の通行不能や孤立集落の解消)
	減災対策への取り組み (※二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)
	救急医療体制の支援
	交通安全対策
	地域間交流の促進
②地域の活性化	中心市街地の活性化
	地域産業の活性化
	観光支援
	地域プロジェクト等の支援
	公共交通機関利用の促進 交通結節点の機能の向上
③円滑な交通体系の確保	沿道環境の改善 景観形成
④地域の環境改善	

○印は当該事業効果の主な項目

該当する事業内容等
○ 4車線化や無電柱化による災害時の緊急車両等の円滑な走行確保
○ 明石医療センター(周産期医療)へのアクセス向上
○ 4車線拡幅による延焼防止機能の確保
○ 明石医療センター(周産期医療)へのアクセス向上
○ 歩道及び自転車専用通行帯の整備による歩行者、自転車の安全性確保
- -
- -
○ 臨海部の工場地帯へのアクセス向上
○ 明石公園(明石城)へのアクセス向上
○ 明石市都市計画マスタープラン推進の支援
○ JR西明石駅(JR山陽本線、JR新幹線)へのアクセスが向上
○ 車道部の低騒音舗装、歩道部の透水性舗装、電線地中化を実施する。

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	①地元説明会は、関係自治会に対し、年1回程度を定期的に開催し、事業進捗状況等を説明。 ②地元説明会では、渋滞や交通安全等の観点から、早期工事着手及び完了を望む声が非常に多い。
-------	--